

# 函館

2017年4・5月 第53号

# ハリストス正教会



発行者：函館ハリストス正教会 長司祭コライ・ドミトリエフ  
〒040-0054 函館市元町3-13

TEL(0138)23-7387/FAX (0138)23-7939

URL <http://orthodox-hakodate.jp>

編集者：会報編集委員会 郵便振替 02660-5-1721



## ハリストス復活！ 実に復活！

Христос Воскресе! Воистину Воскресе!

主ハリストスのご復活を心よりお祝い申し上げます！

## 聖大金曜日 から 復活祭 へ

(4月14日)

(4月16日)

受難週間を経て、主のご復活を祝う日が間近となりました。

聖大金曜日(4月13日)の夜、聖堂では聖大金曜日早課というご祈祷が行なわれます。このご祈祷の特徴は、「12福音」の誦読にあります。12福音とは、福音経より主ハリストスの十字架上で苦難を記した12の箇所を抜粋したものです。

私たちは主イイス・ハリストスの十字架上の死についてこれらの箇所を聞くとき、単なる人間的な憎悪や奸計がその要因と

なったのではないことを理解します。

主ハリストスは、イウダが裏切ったから十字架に上られたのでしょうか？

イロドの怒りが原因でしょうか？

それともピラトの無力が原因でしょうか？

いいえ、主ハリストスが死なれたのは、他の理由です。主ハリストスが十字架に上られたのは、人間の悪意のゆえではありません。彼が十字架に上り、十字架上で息絶え、葬られたのは、それが神・父の御旨だったからです。

主ハリストスは自らこの死に向っていきました。彼は人類の贖いとして、十字架の上で息絶えるために人体をとった神です。そして神・父の御旨を従順に全うしました。

ここに人間の悪意や奸計が何らかの役割を果たしたかのように見えるのは、人間的な視点です。これらは主ハリストスに対して何ら影響を与えるものではありませんでした。なぜならば人間は神の上に権力を行使することはできませんが、神は人々の上に絶対的な権力を持っているからです。

しかし神・父は権力を行使して人類を救おうとしたではありません。彼は、愛をもって人類を救おうとしました。

モスクワの府主教聖フィラレトはその愛について次のように表現しています。

「神・父の愛は十字架に掛ける愛、神・子の愛は十字架に掛けられる愛、神・聖神<sup>o</sup>の愛は十字架の力をもって勝利する愛」

まさにこの愛が、人類の死を贖うための神・子の死の理由となったのです。

天地創造の時、神の像と肖として造られた人間は、楽園で神が備え、与えた立場における役割に答えることができませんでした。神の戒めを守ることができなかったからです。神の戒めを守ることができなかったのはアダムとエヴァだけではありません。この世に現われた全ての人間が神の戒め

を守らず、行なわず、精神的怠惰の中に自分勝手な日々を送ってきました。その人間を再び神の国に入るに堪うるものとするために、人性をとった神は十字架に上り、人間の罪と共に釘打たれ、三日後に復活したのです。復活祭のトロパリにおいて「死を以て死を滅ぼし」と歌われる所以です。

これによって人間は罪の中に死す者ではなく、最後の審判において神の国にお

ける永遠の生命への復活を自分のものとするのが可能となったのです。

聖書の中で私たちが会おう主ハリストスの言葉は、私たちに大なる智慧と力を与えてくれます。しかし聖大金曜日に私たちが会おう

主ハリストスの沈黙は、人間の原罪を贖うための代価が、人智を超えた主・神の慮りの中にあることを私たちに教えています。

今年もまた、私たちは聖大金曜日を越えて主の復活に至る道のりを体験します。主が復活されたのは、他ならぬ私たち一人ひとりのためです。光明なる主ハリストスの復活の光に照らされるべく参拝し、皆で善き復活祭を迎えましょう。

(長司祭ニコライ・ドミートリエフ)

※参考文献：府主教イラリオンの説教集



▲ 聖堂の中央に安置された「眠りの聖像」  
(2016年聖大金曜日／函館ハリストス正教会)

## 大 齋



▲ 謝罪の晩課(2月26日)



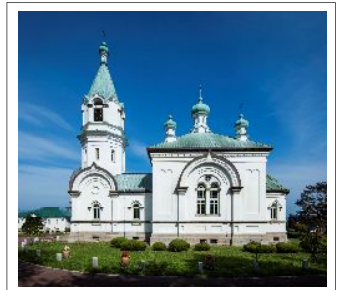
▲ 十字架叩拝の主日(3月19日)

正教会暦に基づき、函館ハリストス正教会では2月26日(日)に謝罪の晩課を行ない、翌27日(月)より大齋に入りました。大齋が半ばまで来た3月19日(日)には、大齋第三主日(十字架叩拝の主日)を迎え、大齋後半に向けて力を頂くべく、参拝者は皆、十字架の前で叩拝しました。大齋中は毎週木曜日に晩堂大課、毎週金曜日に先備聖体礼儀が行なわれています。大齋期のみ行なわれる特別な祈祷に与り、神・聖神<sup>o</sup>の賜物を頂きましょう。4月・5月の奉事・行事予定を見て、各自のできる範囲において平日の参拝も心がけましょう。(管轄司祭)

## 聖堂耐震診断について

2014年より執事会の検討課題として挙がり、2016年にダニイル府主教座下とセラフィム大主教座下より実施に向けて祝福を頂いた聖堂耐震診断が、今年2017年より始まる運びとなった。

3月2日(木)に市文化財課が日程説明のため来堂し、管轄司祭ニコライ神父とセルギイ下田執事長が対応した。聖堂耐震診断は、現在の聖堂がどの程度地震に耐え得る建造物であるかということ、文化庁で定められている診断方法によって数値で表すもの。その結果を見て、今後の耐震工事の工法を検討することとなる。



今まで行なったことのないボーリングによる地盤調査も行なわれることになっており、1859年の時点で山肌を崩して平地にしたと言われる工事の実態も見えてくることが予想される。聖堂についてもコアを取り出し、煉瓦の重ね方、目地の材料・強度などが判ることになる。教会としてもこの耐震診断によって明らかにされる建造物としての聖堂の新しいデータが楽しみでもあり、気がかりでもある。これらの診断は、今年の夏から来年にかけて2年間(2年度)で行なわれる。委託先は公益財団法人文化財建造物保存技術協会(文建協/東京)。文化庁の補助事業で、総額25,960,000円、内所有者(教会)負担が3,894,000円となる。

消息

〔埋葬〕

2月13日(月)、アキラ宮崎昭兄(87歳)が永眠した。15日(水)通夜、16日(木)埋葬式が行なわれた。永眠前日の12日(日)、五稜郭病院集中治療室において管轄司祭より痛悔・領聖機密を受けた。



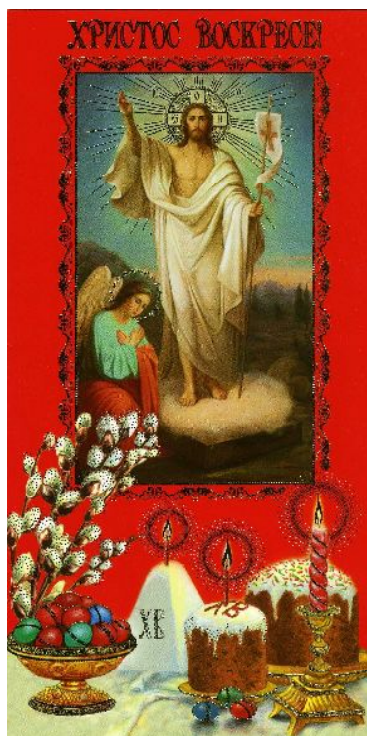
〔洗礼〕

3月21日(火)、三名の洗礼が行なわれた。セルギイ・エリヨミン(29歳／写真右端)、ドミトリイ・アレクセーエフ(51歳／写真右から二番目)、ダニイル・イワノフ(4歳／司祭の前)



画像

## 復活祭関連ご祈祷のご案内



### 〔復活大祭に至る奉事・行事予定〕

下記のご祈祷は、できるだけ信徒全員で参拝しましょう

**4月14日(金)**

聖大金曜日

15:00 晩課(「眠りの聖像」の捧出)

続いて 早課(「眠りの聖像」の十字行)

**4月16日(日)**

復活大祭

09:00 痛悔機密

10:00 十字行／聖体礼儀

ご祈祷後、信徒会館にて祝賀会

函館ハリストス正教会復活聖堂

※受難週間の詳細は、4月の奉事・行事予定をご覧ください

## クリーチと紅卵のご案内

復活祭のお祝い用の紅卵(イースターエッグ)とクリーチ(復活祭の菓子パン)を下記の要領で頒布します。希望者は、**4月2日(日)まで**に担当者または教会までご連絡下さい。

品物の受け渡しは4月16日(日)、午後8時30分より信徒会館にて行ないます(紅卵担当：マリヤ大谷姉／クリーチ担当：イリナ鈴木姉)。

紅卵	1パック(5個入り)	300円
クリーチ	エトワール箱入り(大)	2,700円
	エトワール箱入り(中)	1,900円
	エトワール箱入り(小)	1,500円

### 【卵染め奉仕のご案内】

4月14日(聖大金曜日)、午前11時より、信徒会館において卵染めを行ないます。必要な方はエプロンをご持参下さい。昼食の準備を致しますので、参加される方はイリナ鈴木姉までお申し出下さい。



## 上磯ハリストス正教会だより

### 【婦人会総会】

2月12日(日)、主日聖体礼儀後、「しんわの湯」において、婦人会総会が行なわれた。イリナ田中利代子婦人会長の挨拶の後、会計のユリヤ大村英子姉より会計報告及び予算について説明があった。財務及び活動について全て承認された後、イリヤ坂下洋光執事長が「心一つにして教会活動を頑張っていきましょう」との趣旨で乾杯の音頭をとられた。くつろいだ雰囲気の中で、懇談のひとつときを楽しんだ。



### 【来 客】

3月12日(日)、大野文化財保護研修会の木下寿実夫会長(写真右)と島津彰氏(写真左)が来堂した。3月9日(木)に北斗市郷土史料館において行なわれた講演会「上磯ハリストス正教会の由来」(講師:山崎ひとみ)の中で、上磯正教会所蔵山下りん画の「機密之晚餐」の話が出たため、実物を拝画するために来堂。文化財指定に向けての話も出た。島津氏は現在、上磯正教会の歴史についてまとめているところで、信徒の昔の思い出話を興味深く聞いていた。



### 【聖歌練習と学びの会】

2月、3月の管轄司祭巡廻の際、土曜日の夜、または日曜日の主日昼食会後に聖歌練習及び簡単な「学びの会」が行なわれた。4月の巡廻の際にも行なう予定。

Подарок к Пасхе



## 復活祭のお知らせ

復活祭 5月13日(土)

〔午後6時頃より痛悔機密、その後聖体礼儀及び祝賀会〕

復活祭後の墓地祈祷 5月14日(日)

〔午前10時より聖堂にてパニヒダ、その後野崎墓地〕

— 上磯ハリストス正教会 —

## 4月の奉事・行事予定

1(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 福音経;イオアン64端 20:11-18
2(日)	函館	10:00	大斎第五主日(エジプトの聖マリヤの記憶) 聖体礼儀 第8調 聖大ワシリイの聖体礼儀 使徒経;エウレイ321半端9:11-14/福音経;マルコ47端10:32-45 ※聖体礼儀の後、4月の聖名祭モレーベンを行ないます
		13:00	信徒学びの会/婦人会
3日(月)より【聖枝週間】			
6(木)	函館	17:00	晩堂大課
7(金)	函館	10:00	生神女福音祭(聖金ロイオアンの聖体礼儀)
8日(土)、9日(日) ニコライ神父、上磯出張			
8(土)	上磯	19:00	聖枝祭晩課
9(日)	上磯	10:00	聖枝祭聖体礼儀
		13:00	復活祭前の大掃除
	函館	10:00	聖枝祭代式祈祷 使徒経;フィリッピ247端4:4-9/福音経;イオアン41端12:1-18
		代式後	復活祭前の大掃除(※昼食の準備があります)
10日(月)より【受難週間】			
12 聖大水曜日	函館	10:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
13 聖大木曜日	函館	10:00	聖体礼儀(機密の晩餐[領聖機密の確立]の記憶)
		17:00	早課(12福音)
14 聖大金曜日	函館	11:00	卵染め(婦人会役員は10:00集合)
		15:00	晩課(「眠りの聖像」の捧出)
			早課(「眠りの聖像」の葬り・十字行)
16 復活大祭	函館	9:00	痛悔機密
		10:00	十字行・聖体礼儀
		13:00	祝賀会

## 【函館正教会復活祭の参拝について】

復活祭の十字行・聖体礼儀が午前10時より行なわれます。  
痛悔機密、成聖のための紅卵・クリーチの飾付けなどを  
午前10時までには終わるよう、早めの参拝を心がけましょう。



17日(月)より【光明週間】(無斎週)			
22(土)	函館	17:00	主日徹夜祈 福音経;マトフェイ116端28:16-20
23(日)	函館	10:00	復活祭後第二主日(聖使徒フォマの主日)聖体礼儀 第1調 使徒経;聖使徒行実14端5:12-20/福音経;イオアン65端20:19-31 ※聖体礼儀後、執事会を行ないます
		13:00	復活祭後の墓地祈禱(ハリストス正教会墓地→ロシア人墓地)
24(月)	函館	11:00	復活祭後の墓地祈禱(立待岬)
※上記以外の場所に墓地があるご家庭は、教会までご連絡下さい。復活祭後の墓地祈禱を行ないます。			
29(土)	函館	17:00	主日徹夜祈 福音経;マルコ71端16:9-20
30(日)	函館	10:00	復活祭後第三主日(聖携香女の主日)聖体礼儀 第2調 使徒経;聖使徒行実16端6:1-7/福音経;マルコ69端15:43-16:8

## 5月の奉事・行事予定

6(土)	函館	17:00	主日徹夜祈 福音経;ルカ112端24:1-12
7(日)	函館	10:00	復活祭後第四主日(癱者の主日)聖体礼儀 第3調 使徒経;聖使徒行実23端9:32-42/福音経;イオアン14端5:1-15 ※聖体礼儀語後、5月の聖名祭モレーベンを行ないます
		13:00	信徒学びの会/婦人会
13日(土)、14日(日) ニコライ神父、上磯ハリストス正教会出張			
13(土)	上磯		復活大祭/祝賀会
14(日)	上磯	10:00	復活祭後の墓地祈禱(聖堂→野崎墓地)
	函館	10:00	復活祭後第五主日(サマリヤ婦の主日)代式祈禱 第4調 使徒経:聖使徒行実28端11:19-26,29-30 福音経:イオアン12端4:5-42
20日(土)、21日(日) 北海道ブロック拡大宣教会議(ニコライ神父、釧路正教会出張)			
21(日)	函館	10:00	復活祭後第六主日(瞽者の主日)代式祈禱 第5調 使徒経;聖使徒行実38端16:16-34 福音経;イオアン34端9:1-38
25(木)	函館	10:00	昇天祭聖体礼儀 使徒経;聖使徒行実1端1:1-12/福音経;ルカ114端24:36-53
27(土)	函館	17:00	主日徹夜祈 福音経;イオアン66端21:1-14
28(日)	函館	10:00	復活祭後第七主日(諸聖神父の主日)聖体礼儀 第6調 使徒経;信徒行実44端20:16-18,28-36/福音経;イオアン56端17:1-13
		13:00	執事会/聖歌練習

